**アスタナ平和宣言2025**

我々、2025年9月17日から18日にアスタナで開催された第8回世界伝統宗教指導者会議の参加者

***宗教、異文化、異文明間の相互理解と尊重のための対話の強化、平和文化の促進、民族、宗教の異なる人々の関係の改善に貢献したいとの願望を一つにし、***

***宗教指導者間の対話は、基本的人権及び自由の促進及び保護を含む、普遍的な人間価値のより一層の認識及び促進に寄与することができることを認識し、***

***世界全体の平和と安定を強化するために、宗教や文化間の対話を促進するための国連その他の国際機関、地域機関、コミュニティ機関及び非政府機関の努力を支援し、***

***文明、文化、宗教及び民族間の理解及び尊重の促進における国連文明同盟の特別な役割を認識し、***

***「2033年までの世界及び伝統宗教指導者会議の発展の概念」に掲げられた価値と目標へのコミットメントを再確認し、***

***文化的および宗教的多様性を尊重することの重要性を強調する。***

***人道上の危機と民間人の苦しみを伴って、世界各地で紛争が続いていることに深い遺憾の意を表明し、***

***カザフスタン共和国大統領カシム・ズマラット・トカエフが、平和のための新たな世界的運動の形成のために善意のすべての人々の努力を結集するという鍵となる呼びかけを歓迎し、***

***憎悪と暴力の扇動に寄与するデジタル環境におけるその顕現を含め、宗教的および関連するイデオロギー的不寛容の台頭に懸念を表明する。***

***テロリズムのあらゆる形態及び症状は、いかなる宗教、国籍、文明又は民族集団とも関連してはならず、また関連してはならないことに留意し、***

***世界の人々の精神性、文化、伝統を反映したユニークな歴史遺産として宗教的遺跡やシンボルを保護することの重要性を再確認し、***

***環境状況と気候変動について特に懸念を表明し、環境保護のための積極的な行動のために地域社会を教育し、鼓舞し、動員する宗教指導者の役割に留意し、***

***人工知能を含む新技術は、人類を傷つけることなく、すべての人間の尊厳を尊重し、人々に役立つべきであると強調し、***

***偏見を克服し、相互理解を深め、協力を強化するため、宗教間及び異文化間の対話に若者及び女性を参加させることの重要性を認識する。***

***平和、寛容、相互理解、異宗教間及び異文化間の対話を促進し、宗教や信念に基づく差別を根絶する上で、教育の重要性を強調する。***

***国際的な対話のための効果的なプラットフォームとしての会議の重要性を再確認し、異文化間及び宗教間の相互作用を強化する上での会議の重要な役割を認識し、***

**次の共通位置に到達：**

1. **我々は,平和,社会の安定及び世界的協力を達成するための努力における重要な手段として,宗教間及び異文化間の対話を深化させることにコミットする。 紛争や地政学的対立が激化する中で、平和と発展への道を開く対話こそが、人類の生存の基盤である。**
2. **我々は、各国政府、国際機関、宗教指導者、政治家、専門家、 NGO、メディア、善意のすべての人々の代表は、人類の団結の基礎として異文化間及び宗教間対話を積極的に促進し、寛容、人権の尊重、包摂性及び平和的共存を促進し、人々と国家間の平和と理解を強化するために憎しみと暴力の言葉を拒否する。**
3. **我々は、宗教指導者の使命の一部は、問題を指摘し、信頼と公正な解決を促進するとともに、地域的及び世界的レベルでの平和構築と建設的な対話を支援する、現代社会の道徳的指導者であることであると信じる。**
4. **我々は,国連文明同盟の後援の下で開催された「宗教地の保護に関する特別セッション」が,近年世界の多くの地域で起こった損害と破壊を認識しつつ,人類の文化的多様性と精神的遺産の保存に重要な貢献をしていることに留意する。 宗教の自由を促進し保護するための世界的な努力を結集するという国連の目標に貢献している。**
5. **我々は、聖座とアル＝アズハル・アル＝シャリフによって開始された「平和と平和的共存のための人間の同胞に関する文書」、「メッカ宣言」、「イスラム思想の学派間の架け橋に関する宣言」、ならびに聖座、バーレーン、ヨルダン、文明同盟、世界イスラム連盟のイニシアティブの価値に再び留意する。 平和のための宗教、G20宗教間フォーラム、ムスリム長老会議、アメリカ合衆国国際宗教自由委員会(USCIRF)などの組織は、世界中の異なる宗教や信仰の信者間の宗教間の対話と理解を強化することを目的としていた。**
6. **我々は、平和、人々と宗教間の対話、人間の尊厳と正義に奉仕することに生涯を捧げてきた、我々の時代の傑出した精神的指導者であるフランシスコ法王の貢献を感謝とともに認め、尊重する。 彼の遺産は、世界で調和、慈悲、理解を求めるすべての人々にとって明るい参照であり続けている。**
7. **我々は,この分野における有用な出発点として役立つ「宗教施設保護のための国連行動計画」のようなイニシアティブを考慮しつつ,「多様性における統一」に関する国連の論文及び異文化間対話の発展及びヘイトスピーチに対抗することを目的とした国連総会の勧告を強く支持する。**
8. **我々は,世界の様々な地域における紛争の継続に深い懸念を表明する。 これらの紛争は国や民間人に大混乱をもたらし、大規模な人権侵害をもたらし、人類の基盤と世界の安全保障を脅かす。 我々は,すべての当事者に対し,暴力を停止し,対話に従事し,国連憲章及び国際法に基づく平和的解決を求めるよう求める。**
9. **我々は、平和を維持し、すべての人類に脅威を与える核兵器その他の致死的な大量破壊兵器の使用を防止することを求める。 政治指導者や政治家は、世界の平和と安全を最前線に置きつつ、良識を発揮し、道徳的原則に従い、武力紛争の拡大を防止するためにあらゆる努力をすべきである。**
10. **我々は,女性及び子供,高齢者,障害者,難民及び危機・紛争地域からの国内避難民,その権利及び社会統合を支援するための強化された努力の必要性に国際社会の注意を喚起する。**
11. **我々は、社会的不平等が急進主義を助長することを認識し、政治指導者に対し、富の格差を縮小し、すべての人のためのまともな生活条件を確保するよう求める。 消費者社会の文脈における精神的・道徳的指導の喪失について懸念を表明し、現代社会における精神的価値と道徳的責任の育成を求める。 宗教的伝統の信者は、精神的価値に従って宗教の自由の権利を否定されるべきではない。**
12. **我々は、国家間の経済的及び政治的矛盾及び紛争が、異文化間及び民族間の敵意及び不寛容の増大をもたらし、人々の間に憎悪、差別及び暴力を生じさせてはならないと確信する。 市民社会と政治家は、このことを認識し、個人、社会、国の間で寛容と尊敬の文化を促進することを目的とした相互尊重と対話の維持を促進すべきである。**
13. **我々は、過激主義、急進主義及びテロリズムのあらゆる形態及び現れを非難し、宗教は政治的目的のために使用できないことを宣言する。 我々は、この方向に宗教的及び政治的指導者の協力を求める。**
14. **我々は、宗教的憎悪の宣伝、宗教に基づく差別の扇動、敵意または暴力、宗教的対象やシンボルの冒涜、その他の宗教的不寛容の行為を非難する。**
15. **我々は、急進主義と過激主義と戦うためのツールとして、啓蒙と宗教教育を支持する。 教育は、他の信仰や世界観を尊重する文化を形成し、世界の平和的な共存と相互尊重の基礎を作り出すべきである。**
16. **我々は、人種、宗教、文化その他の違いに基づく差別や抑圧を許さず、民族的・宗教的マイノリティの権利の保護を求める。 人間の多様性は神のデザインを反映し、すべての人々の平等を暗示することを認識し、我々は、宗教に対する強制の許容できないことと、平和的共存の基礎としての違いを尊重する必要性を強調する。**
17. **私たちは**  持続可能な開発の基盤としての公平性と包括性。 我々は,すべての宗教的,民族的及び社会的集団の権利の保護,公共生活及び政治的対話への積極的な参加を求める。
18. **我々は、政治的及び公的生活における女性の可能性を認識し、女性がより十分に参加できる環境の構築に貢献するよう努める。**
19. **我々は、異なる文化や宗教間の理解と尊重の架け橋を構築する上での若者の役割を強調する。 我々は,新世代の努力を強化し,宗教間対話の継続性を確保するための重要なプラットフォームとして,世界伝統宗教指導者会議の枠組みの中で開催されている青年宗教指導者フォーラムを支持する。**
20. **我々は、SDGsアジェンダの実施の減速に懸念を表明し、2030年までに持続可能な開発目標を達成するために開発途上国に対する財政的及び技術的支援を増やすよう先進国に要請する。**
21. **我々は、環境保護及び気候変動との闘いの重要性を確認する。 生態系を保全し、気候災害を防止し、気候変動を緩和し、適応するための世界的な努力を呼びかける。 自然を大切にすることは、創造主と未来の世代に対する道徳的義務である。**
22. **我々は、国際気候フォーラムでの発表を視野に入れ、「気候変動と闘うための信仰の役割」という文書を作成するよう、会議事務局に指示する。**
23. **我々は,デジタル技術,人工知能及びバイオエンジニアリングを含む新技術の責任ある使用を求める。 差別や敵意、人間の尊厳を傷つけるためにAIを使用することは許されない。 人権と倫理原則に基づいて、AIの使用に関する国際的な基準を策定する必要性を強調する。 我々は、AIの発展の進展にもかかわらず、真の思いやりと愛を得る能力は依然として人間の例外的な特質であり、これらの特質を育成することが、人類の人文主義的、精神的、道徳的発展の基礎であるべきであることを確認する。**
24. **我々は、人工知能の責任ある使用のための一連の普遍的な原則を精神的・道徳的価値の観点から開発する可能性を探求することを推奨する。**
25. **我々は、国際社会に対し、国連憲章の目的と原則、国際的な保証に関する国際法、争われているグローバル・アジェンダの安全な状況及び国際的な安全と正義の保証としての地政学的現実を尊重するよう求める。**
26. **我々は、分裂と紛争を克服し、国民間の信頼を強化し、平和と正義の理想を確認するすべての人々の努力を結集するための平和のための新しい世界的な運動を形成するというカザフスタン大統領のカシム・ズマル・トカエフの呼びかけを支持する。**
27. **我々は、世界平和運動の目標を前進させるための国際対話を強化し、平和と調和の文化を促進する効果的な方法を見つけるために、他の世界的及び地域的なプラットフォームと協力して、一連の国際ラウンドテーブルイベント、会議及びウェブサイトを開催するつもりである。**
28. **我々は、包摂的で調和のとれた国際社会の形成のための世界的な努力を強化するために、国連及びその他の国際フォーラムの会場において、世界及び伝統的宗教の指導者会議の理念と目標を促進し、実施することを提案する。**
29. **我々は、国際社会及び国連総会に対し、20年以上にわたり宗教間の対話と調和を積極的に促進し、平和と調和を促進してきた世界及び伝統宗教指導者会議の重要な役割を認識するよう求める。 世界的な宗教間対話と相互尊重と協力に基づく精神的外交の形成に大きく貢献した。**
30. **我々は、会議の事務局に対し、第8回世界伝統宗教指導者会議宣言の推進と実施のためのロードマップを作成し、フォーラムのパートナーとともに国際レベルで表明された提案やアイデアの実践的な実施を確保するよう指示する。**
31. **我々は、会議の事務局が、会議のテキストや資料、参加者や専門家によるプレゼンテーション、フォーラムのアイデアと目的を反映したメディアプロジェクトの電子ライブラリを備えた国際的なオンライン精神的知識センターを創設することを勧告する。**
32. **我々は,世界・伝統宗教指導者会議の活動を継続するという我々の共通のコミットメントを再確認し,次回の第IX回会議を2028年にカザフスタン共和国の首都アスタナで開催する意図を表明する。**
33. **我々は,カザフスタン共和国が,異文化間,宗教間及び宗教間対話の権威ある世界的な中心であることを改めて認識する。**
34. **我々は、第8回世界・伝統宗教指導者会議を開催してくださったカザフスタン共和国、カチム・ゾマルト・トカエフ大統領、及びカザフスタンのすべての人々に心から感謝する。**

**\* \* \***

この宣言は、第8回世界宗教指導者会議の代表団の大多数によって採択され、当局、世界中の政治的・宗教的指導者、国際機関、地域組織、市民社会機関、宗教団体、主要な専門家に伝達されている。 また、第80回国連総会で公式文書として配布される。

宣言に含まれる原則は、すべての関心国のすべての政策決定、法律、教育プログラム、メディアに含めるために、地域レベルおよび国際レベルで普及させることができる。

**団結と平和と繁栄への道が祝福されるように!**

**第８回世界伝統宗教指導者会議参加者の皆様**

**カザフスタン共和国**

**アスタナ**

**2025年9月17～18日**